

# 田中りえ子市議から バトンタッチ



6期24年間、地域のみなさんのお力で市議会に送り出していただき、本当にお世話になりました。このたび、39歳で子育てしながら働き、父親の介護を頑張っている、北森あすかさんが私の後継者として決意してくれました。大学で法律を学び、正義感と優しさあふれる素敵な方です。みなさんのお力を北森あすかさんにお寄せいただきますよう心からお願いいたします。

田中利恵子

大軍拡、増税、憲法9条改悪をストップ  
再生可能エネルギー社会を、ただちに原発ゼロへ  
ジェンダー平等の促進

## 北森あすかの活動地域

栄町・城内・中町・浜町・本町・東町・寿町・十字町・南町・板橋・南板橋・水之尾・風祭・入生田・早川・石橋・米神・江之浦・根府川・城山・谷津・荻窪・池上・久野・扇町・井細田・多古

## ●北森あすかの プロフィール

1983年小田原生まれ。芦子小、白山中、県立小田原高等学校、中央大学法学部、同法科大学院修了・法務博士。自動車メーカーに派遣社員として勤務。夫、子ども(幼稚園児)、両親と荻窪在住。趣味はF1、野球、テニス観戦、舞台鑑賞、クラシック鑑賞、歌うこと。

きたもり明日香

# 北森あすか

39歳

どんなときでも  
「住んで良かった」  
と思える小田原に

# Message

気候温暖、地震が心配だけれど、交通の便が良く、住みよい街、小田原。私はこの街で生まれ、育ちました。

結婚・出産を経て、両親の老後を見据え、同居のために実家を見て替えたところ、隣アパートの違法建築を理由に、我が家の新築許可が下りませんでした。

同居から半年後、父が脳梗塞を発症・重度障がい者になりました。病院と会社の往復で、夜遅くまで帰宅できない生活の中でも、子どもは保育園に入園できませんでした。

どちらも親身になって相談に乗ってくれたのが田中議員でした。人生、山あり、谷あり。順調なときばかりではありません。私は困っている市民のみなさんに寄り添い、問題解決に向けて一緒に取り組みます。

どんなときでも「住んで良かった」と思える小田原に。



北森あすか

## 北森あすかの生い立ち

### 弁護士をめざした学生時代

両親、祖父母、妹との6人家族で育つ。子どもの頃は、夕方のニュースを見ながら祖父と政治の話をするのが日課。高校時代は管弦楽部でバイオリンを担当。大学時代は国際私法を専攻し、東アジアの法学部生と交流するサークルで活動。社会で弱い立場にいる人・困っている人を助ける仕事に就きたいと、弁護士をめざして、法科大学院に進学。

### 看取りをきっかけに別の「人助け」の仕事に

病室に数か月間寝泊りして祖母を看取ったあと、心機一転、自動車販売会社で使用する業務システムのヘルプデスクに勤務。システム利用者との会話から事象を把握し、調査し、解決に導く。派遣社員ながら、正社員・契約社員・派遣社員を束ねるリーダー職に。

### フルタイム勤務の派遣社員として、妻・母・娘として、働き詰めの毎日

妊娠時に、産休ではなく退職を迫った派遣元。リーダー昇格でも見合った昇給もなく、子育てと介護で全国転勤できないことを理由に正社員採用をいやがる派遣先。

朝から晩まで残業しながら働き、勤務時間以外は家事・介護に追われ、子どもとの時間を犠牲にする毎日。働き詰めの女性で成り立つ社会が「女性活躍推進社会」だとしたら、そんな社会はおかしいと、政治に問題意識を向けるように。

### 日本共産党に入党

戦争や戦後の高度成長期もバブル期も知らず、バブル崩壊後の停滞する時代を生きてきた氷河期世代。実質賃金はこの四半世紀で最低を更新し続け、大半の人の生活は貧しくなるばかり。キラキラした未来を語り政権を担ったどの政党も責任をとらず、個人の選択、自己責任だと言わんばかり。

子どもたちに残す社会は、こんな社会であってはいけない。日本で生きてほしいと言えない。40歳を前にして、自分の残りの人生で何ができるだろうかと考えた結果が、しがらみなく、おかしなことにはおかしいとまっとうなことを言う、日本共産党への入党。

コロナ禍と物価高で生活に不安を感じている多くの市民に、更なる増税や負担増を押しつける政治ではなく、市民に寄り添う政治を。憲法遵守、法律による行政で、市民の暮らしを守らせる。軍事費に回すお金があるなら、生活不安解消に回させる。

## 子育てするなら小田原

## 北森あすかのお約束

### 1 出産、子育てするなら小田原

統一協会も推進する「家庭教育支援条例」ではなく、子育てに予算を、所得制限をかけずに子ども全員に支援を、教師に負担ではなく余裕を、学力調査より授業準備と児童にかかわる時間を

- 妊産婦検診自己負担ゼロ
- 乳幼児の予防接種費用ゼロ
- 隠れ待機児童ゼロ
- 副食費・預かり保育料ゼロ
- 食料自給率UPにつながる豊かな小・中学校給食と費用負担ゼロ
- 18歳までの医療費ゼロ

### 2 働くなら、納税するなら小田原

- ケア労働者の責任の重さに見合う待遇を
- 高すぎる国民健康保険料を協会けんぽ並みに引き下げを
- 小田原市の公務職場から時給1500円以上に

### 3 高齢者・障がい者と家族の生活を犠牲にしない小田原

- 家庭でケアを担う人、ヤングケアラー、ダブルケアラーを孤立させない
- 補聴器購入助成制度の実現
- 重度障がい者医療費無料の堅持
- 特養ホームの増設、待機者解消
- 点字ブロック、音の出る信号機の拡充、補助犬への助成

### 4 閉じこもらず、外に出たくなる小田原

- 小田原駅西口整備、少年院跡地の活用は市民本位で
- 誰もが使える充実した公園を近所に整備
- 子ども、高齢者、障がい者をみんなで見守る街づくり

### 5 地震・火山・台風の災害に備える小田原

- 誰もが安心して利用できる避難所の整備
- 原発・火力に頼らない、地産地消の発電支援